

例年1月～3月は、太平洋側沿いに低気圧が発達しながら接近すると、本町一帯は、北または北西からの強い風により、地吹雪などが発生して道路が通行止めになったり通行が困難になったりし陸の孤島となることがあります。

平成25年3月には、中標津町で吹雪により5人が死亡するという痛ましい事故が起きています。本町でも、平成26年・27年には、毎週のように猛吹雪が発生し、全ての国道・道道が通行止めとなり、まさに陸の孤島となってしまいました。その際、観光客や運送事業者が移動できなくなる、いわゆる「帰宅困難者」が多発し、多くの方が車両内で避難していました。今年の冬にそのようなことが起きた場合、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを回避しようと、車中に避難する人がさらに多くなると予想されます。

車両での移動中にも同じような事態に遭遇する可能性があります。地域が指定した避難所に避難することが一番ですが、やむを得ず車中に避難する場合は、上の図の内容に注意して、一酸化炭素中毒や低体温症にならないように気を付けましょう。

問い合わせ先／役場総務課防災情報係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。

！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。

！ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。

！ 窓を開けていても絶対安全とは言えません

風向や窓の開度などの条件によっては、窓を開けていても閉めていたときより一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。

ご利用ください 空き家バンク・人財バンク

町で実施している「空き家バンク制度」「人財バンク制度」を紹介しています。

1月7日現在、「空き家バンク」で募集している空き家物件は4件（売買4件）。今月は「登録番号57物件」を紹介します。

「人財バンク」に登録されているのは、個人登録6人、団体登録8団体。今月は団体登録番号5「摩周ジャガーズ野球少年団」を紹介します。

それぞれの詳しい内容は、町公式ホームページに掲載していません。ご覧いただき、ぜひ、ご活用ください。

▶ 空き家バンクホームページ
https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/kurashi_tetsuzuki/sumai_seikatsu/1/1658.html

▶ 人財バンクホームページ
https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/soshikiichiran/kyoikuiinkai_shakaikyoikuka/jinzaibank/996.html



▶ 場所／弟子屈町鈴蘭5丁目 3番地115 **空き家バンク 登録番号57**

▶ 建物／木造2階建て 3LDK

▶ 建築年／1976年 (昭和51年)

▶ 価格／50万円

▶ 氏名／摩周ジャガーズ野球少年団 **人財バンク 団体登録番号5**

▶ 分野／学術・文化・芸術・スポーツ、子どもの健全育成

▶ PR／野球を通じ青少年の健全育成を目指し、楽しく活動しています。白球を追いかける子どもたちの成長と一緒に感じてもらえませんか。いつでも、見学、体験入団募集中です。少しでも興味のある方はお気軽にご連絡ください。

問い合わせ先／空き家バンク／役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)
 人財バンク／教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

森のスノーパーク

てしかがえこまち推進協議会

「弟子屈ならでは」の楽しみで、寒い冬を遊びつくそう！

地元ガイドによる冬のアクティビティーが体験できる、大人も子どもも楽しめるイベントを開催します。今年は弟子屈高校の生徒のみなさんも企画から参加し、彼らが考えたプログラムが盛りだくさん！皆様のご参加をお待ちしています！

▶ 日時／2月20日(土)10:00～21:00
 ▶ 場所／川湯エコミュージアムセンターとその周辺

※新型コロナウイルス感染症の状況や天候によって中止となる場合があります。

▶ 内容／
 クロスカントリースキー、ホーストレッキング、ファットバイク、星空観察、地場産グルメ・焼き火グルメ、高校生による弟子屈の魅力プレゼン など



昨年の森のスノーパークの様子

問い合わせ先／てしかがえこまち推進協議会事務局（役場観光商工課観光振興係）

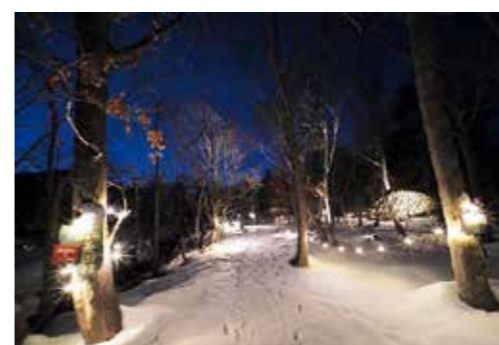
☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 Email: ecomachi@masyuko.or.jp

第11回「極寒芸術祭」2021てしかが

アート&アド部会

密でもない 換気も必要ない コロナ時代の美術館

2010年から毎年開催している国際芸術祭「極寒芸術祭」を今年も開催します。



昨年の芸術祭の様子

芸術祭のメインは、極寒の森に展開される「雪杜野外美術館」です。海外作家Thomas Kimmerlin (France)、Lee, Kuei-Chin (Taiwan)、Lua Rivera (Mexico)、Tan, Sook-Muar (Malaysia)も遠隔参加。国内では小林大悟、関口恒男、野田智之、本間純など、現代アート作家の作品も展示され30以上の作品を夜明けから21時まで鑑賞できます。(敬称略)

▶ 日時／2月2日(火)～3月3日(水) 夜明け～21時
 ▶ 主要会場／川湯温泉「アートイン極寒芸術伝染装置」周辺

問い合わせ先／ACAF事務局 onsen@gold.ocn.ne.jp

地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ

(株)協和建設の皆さんがフェンスを撤去

(株)協和建設（延藤政則代表取締役）の皆さんが12月19日、みはらし台団地のフェンスの撤去作業を行いました。このフェンスは除雪作業の障害になることから冬期間は取外しており、撤去、設置ともに同社が毎年、社会貢献の一環として行っています。参加された3人によって手際よく丁寧な作業が行われました。

